

光透波たより

令和 3年 5月 118号

言葉というものを、考えたことがありますか？

みなさん、言葉というものを考えたことがありますか？おそらく無いはず。人はみな生まれてからお母さんや、お父さん、家族や周りの人から、言葉をかけてもらい、ごく自然のうちに言葉を覚え、気付いたときには、言葉と切っても切れない関係になってゆきます。私たちは知らないうちに言葉と一体の関係になるように育てられているのです。

「人間」→「ニンゲン」→「人言」ということです。したがって、とうぜん言葉について考えることもしなかったのです。もっと言えば言葉を生まれながらに持っているものと、錯覚しているのです。

フリードリッヒ大王の実験で、言葉の本質が明らかに

この言葉が人間にとって何よりも重要であるかを実験して明らかにした人がいますので紹介いたしましょう。

それは捨て子がたくさんいた貧しい時代の中世ヨーロッパの話です。当時のヨーロッパに君臨していた神聖ローマ帝国のフリードリッヒ大王が行った実験です。大王は子供がどのようにして言葉を覚えるのか知りたいと思い、乳児の捨て子を集め、全員に温かい部屋、温かい衣服、温かいミルク・食事をあたえ、二つのグループに分けて実験を行わせたそうです。

Aのグループは、(物をあつかうように) 乳児にいっさい言葉をかけない。

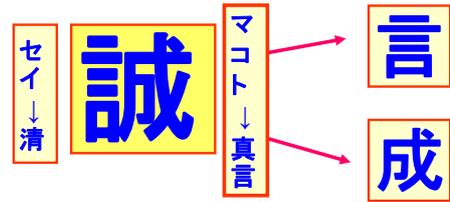
Bのグループは、(母のように) 乳児にやさしい言葉をかける。

3年後、Bのグループの乳児はふつうに育っていったのですが、Aのグループの子供たちはまったく言葉を話すことができませんでした。その上に全員がその数年後に死んでしまったそうです。

人は言葉なければ育たず、生きてゆけません

この実験によって明らかのように、「言葉がけ」、特に愛情にみちた言葉が、乳児や幼児にとっては生きる上で大きな力になっていることを知ることができるのです。

もっと言えば人は言葉がなければ育たず、生きてゆけないということです。

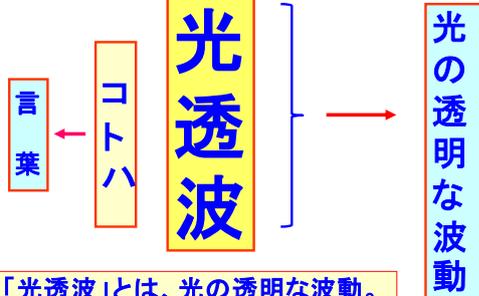


「誠」とは、言葉通りに成すことであり
言行一致の清らかな真言の心と解せます

ワンポイント
字割



フリードリッヒ大王の肖像画



「光透波」とは、光の透明な波動。
それは「コトハ」「言葉」の究極の
エネルギーと解せます。

言葉の奥に秘められた真理を読み解く文字の言霊学 = 光透波の字割を展開しますと、一般常識では信じられないことですが、言葉は命に直結していることが明らかになってきます。言葉の究極の奥には人智では計り知れない波動が脈打っているのです。

言葉は言波、一切のものを生み出す根源力

言葉→言波→コトハ→光透波→光の透明な波動→「光すら透明にさせてしまう波動」ですから、最高究極の絶対的な波動と言うことになります。

このことを見事に表現しているのが聖書のヨハネ福音書「初めに言葉ありき、言葉は神と共にあった。言葉は神なりき、全ての

ワンポイント
字割

<光透波理論>の全貌 ヒカルランド系列「ともはつよし社」から発売中。著者、宿谷直晃

購入希望者は syu98-8do8@mbr.nifty.com

090-2447-2037 宿谷まで

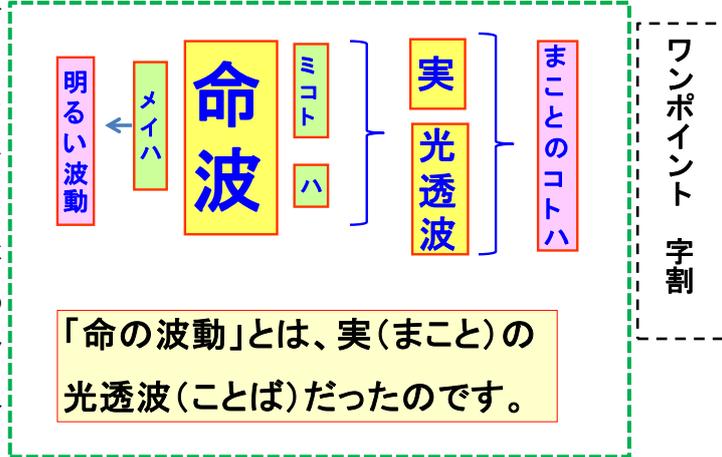
ものは言葉によって成った・・・」という文言です。言葉は言波、一切のものを創造する偉大なる波動が宿っているということです。

良いことも悪いことも、その根源にはコトバのエネルギーが脈打っています。もし、言葉が無ければ、人間はサルやイヌ同様に何も生み出すことが出来ないということです。人類が築いてきた一切の文化文明は言葉が有ったからこそ創造できているのです。良きも悪きもその根源の裏にはコトバが脈打って現れてくるのです。

言葉を乱用し悪用して混乱と危機を招いている人類

このような視点に立てば本来、言葉というものは正しく、穢すことなく使わなければならないものであることが判ってきます。ところが人類はこのことに気づくことなく言葉を誤用し悪用して嘘・偽りの詐欺的言葉や、軽薄な言葉、穢れた言葉、暴力的な言葉を乱用し続けているのです。

何時の時代も、世相を表している新聞紙上の文字を見たとき不安・恐怖・破壊・紛争・破綻、そして嘘と欺瞞、悪と、悲しみの文字が踊っています。このことはテレビやラジオの放送メディアも然りです。その怒涛のように流れ込むマイナスの言葉に流されて、人々は暗い不安で不幸な想いに駆りたてられている・・・、それが近現代史の人類社会の実態です。マイナスの言葉に囚われて、操られて人々は大きく誤った受け止め方をしているということです。



今日、世界中で展開されているコロナ報道は、その策謀的な報道の典型的な事例ではないでしょうか？ やがて嵐が去ったa、人々をマインドコントロールして恐怖心を抱かせ、コロナワクチンを打たそうとしたことが明るみになってくるに違いありません。筆者は真実を報じるマスメディアを否定しているのではありません。多くの策略的な操作された報道が行われていることを指摘しているのです。この問題に関しては本旨からずれますので、この辺で止めておきます。

光透波の学びは「命」の学びに通じています

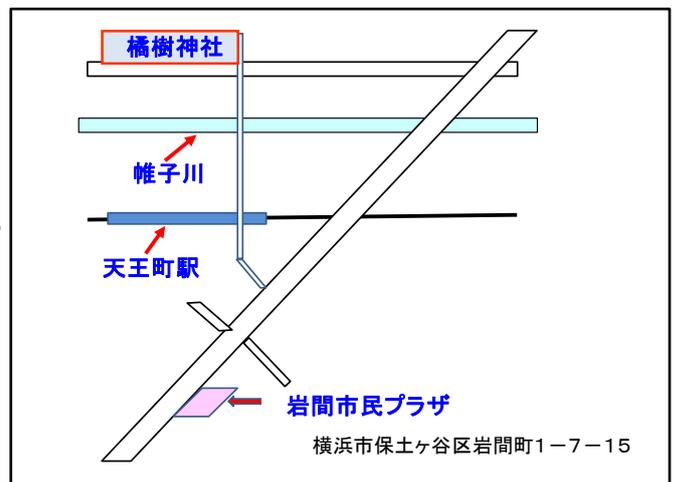
本来、言葉→コトバには宇宙に通じる素晴らしいパワーが秘められています。その「コトバの謎」、「コトバの秘密」を明らかにし、言葉の乱れを正す時代が到来しています。その最先端を歩んでいるのが新しい時代の言霊学・光透波です。

光透波理論を別名、命波学と称しています。命波→ミコトハ→実光透波→実の光透波ということです。ですから光透波を学ぶということは、命波、即ち命の学びに通じているのです。是非、本誌で紹介しています各地でのセミナーに参加され、その真偽を確かめられますようご案内いたします。

●第53回、和の会 光透波の集い

- 日 時 5月23日(日) PM1:30~PM4:45
- 場 所 岩間市民プラザ 3階 会議室
横浜市保土ヶ谷区岩間町1-7-15
(相鉄線「天王町」下車 徒歩3分)
- 演 題 「霊主体従の時代と光透波」
- 講 師 宿谷直晃
- 参加費 1,000円

※ 詳細は宿谷090-2447-2037



「コロナ」大いなる宇宙の意図 宿谷直晃著 ヒカルランドから全国有名書店で好評発売中
お近くの書店に無い時は書名・著書名でお取り寄せください。ネットでの購入も出来ます。